

「日本一のうちどく推進のまち・いまり」宣言

子ども時代の読書は「生涯学習のスタート」と言えるでしょう。読書によって、多くの知恵が養われるとともに、豊かな想像力や感性が育ちます。また、子どもは家庭内に醸成された気風の中で育つものです。家庭の中に、読書を介したコミュニケーションの機会があれば、家族の愛情と心のつながりは、より強いものになります。

私たち伊万里市民は、このことをめざして「うちどく（家読）」の推進に取り組みます。家族で本を読むことによって得られる優しさと賢さが、やがて、一人ひとりの豊かな自己実現につながるものと確信いたします。

う うちどくで 家族の笑顔 つながるよ
ち 地域にも ひろげてみんな 楽しいな
ど どの本も 家族の思い出 結んでる
く 暮らしにも 豊かさ運ぶよ さあ読もう！



伊万里市では平成21年に『第1回家読サミット in 伊万里 共同宣言』を、また平成22年には『こども読書のまち・いまり』宣言を行い、うちどくを中心とした子どもの読書活動の推進に取り組んできました。今後も、「伊万里市子どもの読書活動推進計画」に基づき、うちどくをとおして人と人との絆を結び、誰もがいつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、読書によるまちづくりの実現を願って、

1. 子どもは、好きな本をたくさん読んで、家族や友達に伝えます。
2. 大人は、様々な本を読んで、子どもに文化や情報、知識を教えます。
3. 家族は、みんなで一緒に本を読む場を作ります。
4. 学校は、本を読むことの楽しさを教えます。
5. 地域は、世代を越えてうちどくをつないでいきます。
6. 図書館は、各地区や町へ広くうちどくの素晴らしさを啓発していきます。
7. 伊万里市は、うちどくを通じて市民の絆を深め、心を豊かにしていきます。

そして、今ここに「日本一のうちどく推進のまち・いまり」
を宣言します。

平成28年9月3日 伊万里市